

【市長賞】「給食のおかげ」

桜井小学校

平山 芽依

「いただきまーす。」

この一言で楽しくておいしい給食の時間が始まった。まずは、サラダから。今日のサラダは「げんきサラダ」だそう。わたしが一年生の時の国語で習った「サラダでげんき」に出てくる、りっちゃん。野菜がごろごろ入っていてとてもおいしい。だからわたしはこの、「げんきサラダ」が大好きだ。なので、この日の給食は、とてもいい気分だった。

家に帰ってしばらくすると、妹がお母さんに、「ママー。今日の夜ごはん給食で出たサラダが食べたい。」

と言った。すると、お母さんは、「えっ。今日の夜ごはん作っちゃったけど、自分で作るなら食べてもいいよ。」

と言ってくれた。わたしも、家で一度げんきサラダを作って食べてみたかったので、少しうれしくなつて妹と一緒に、サラダを作ることにした。しかし、レシピがない。そこで、レシピは、妹の教科書を使った。

早速、材料をそろえて料理に取りかかった。包丁は妹には危険だったのでわたしが担当した。その代わり、妹は、味付けと盛り付けを担当する事になった。わたしは、野菜やハムを切ったりして、妹は、野菜を洗ったり、お母さんに調味料の分量を教えて

もらいながら味付けをしている。その料理の時間は最高に楽しかった。

そしてついにげんきサラダが完成した。思わずわたしは、

「できた。」

とさげんでしまった。続けて妹も、

「ねえねえ、早く食べようよ。」

とはしゃいで喜んでいいる。さらにお母さんも、

「おいしそうにできたね。じゃあ、早く食べようか。」とほめてくれた。わたしはとてもうれしかった。

また、
「ああ。がんばって作ってよかった。」

と、思った。

そしていよいよ夜ごはん。わたし達が作ったサラダが食たくに並ぶ。

「いただきます。」

食べてみると、給食のサラダとは少し味がちがった。妹が、

「これ味がちがうよ。」

と言った。でもわたしは気にならなかった。そして、わたしは、ふと思った。

「楽しかったなあ。もしかしてこれって給食のおかげなのかな。」